

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヤオコー平塚宮松町店	階数	地上2階
建設地	神奈川県平塚市宮松町213-1、他	構造	S造
用途地域	近隣商業地区	平均居住人員	1,246人
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,300時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年11月 竣工	評価の実施日	2013年3月1日
敷地面積	6,688 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 未来設計
建築面積	3,616 m <sup>2</sup>	確認日	2013年3月1日
延床面積	6,296 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 未来設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値: 100%  
建築物の取組み: 100%  
上記+ 以外の: 50%  
上記+: 50%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合 地球温暖化問題を認識した設計を行いました。省エネや環境負荷の少ない資機材の使用、室内の快適性などに設計の重点をおきました。		その他 0
Q1 室内環境 床・壁・天井・天井裏の面積の合計の70%以上の面積に建築基準法規制対象外となる建築材料を使用しております。全館禁煙なので、非喫煙者への配慮に繋がります。	Q2 サービス性能 天井は高いところで3.98mにもなるので、広さ感・開放感が得られます。内装壁面の仕上は維持管理に配慮した設計を行いました。空調・給排水配管の長寿命化を図っています。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の暑熱環境の緩和に取り組んでおります。
LR1 エネルギー 建物の熱負荷を断熱性能の高い壁の採用、日射負荷の少ない北側を向いた建物配置により省エネ法の基準値以下に抑えました。空調・換気・照明についても同様に基準値以下に抑えました。冷蔵設備の廃熱について、大気排出をできるだけ少なくするように床暖房として廃熱利用を行っております。	LR2 資源・マテリアル 節水可能な給水設備を設置することにより、水の節約に繋がります。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> の排出率を一般建物の50%に抑えております。ヒートポンプエアコン・オール電化システムを採用することにより、燃焼機器を使用しないため、大気汚染物質を全く排出しません。十分な駐車スペースを確保することにより、交通負荷の抑制に努めました。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される